主催：静岡県立大学
共催：静岡県
静岡科学館る･く･る 指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

文部科学省
地(知)の拠点
静岡県立大学 地(知)の拠点(COC)整備事業

静岡発の環境リスク教育を!!

“安全”と“危険”の伝え方を考える

～地(知)の拠点事業採択年のスタートにあたって～

2015年 **3月13日 金** **17:30–19:30**

入館エレベータ稼働 17：15～17：45

静岡科学館る・く・る 8階マルチルーム

静岡県立大学COC事業の特徴 ／本プログラム紹介

挨拶：出川雅邦 （静岡県立大「ふじの くに」みらい共育センター長）
紹介：戸敷浩介、内藤博敬 （静岡県立大）

環境リスク評価の専門家の立場から

「リスクの考え方をどう伝えるか？」
小野 恭子 （（独）産業技術総合研究所安全科学研究部門）

行政の立場から

「静岡県の環境教育の現状」
静岡県くらし・環境部 環境局 環境ふれあい課

コミュニケーターの立場から

「リスクコミュニケーションの勧め」
竹田 宜人（（独）製品評価技術基盤機構化学物質管理センター）

司会 上野雄史 （静岡県立大）
コメンテータ 長澤友香（静岡科学館る・く・る）、坂田昌弘（静岡県立大）
関谷 翔（科学技術振興機構：JST）

参加費無料

右記に記載してあるメールアドレスに、3月11日（水）までに、件名にシンポジウム参加と明記し、氏名、所属先、連絡先をご記入ください。＊当日参加も歓迎いたします。

お問い合わせ
静岡県立大学 経営情報学部 上野雄史
TEL: 054-264-5241
e-mail:ueno@u-shizuoka-ken.ac.jp

静岡県立大学 地（知）の拠点（COC）整備事業

静岡県立大学は、平成26年度から文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC：Center of Community 事業）」の支援を受け、『ふじのくに「からだ・こころ・地域」の健康を担う人材育成拠点』プログラムに取り組んでいます。個人個人の「からだ」と「こころ」に重点を置いた従来の健康概念に「地域」の健康を組み入れ、「健康長寿文化」の創成を目的として、大学-自治体-地域の連携によって「ふじのくに健康長寿拠点」づくりを行っていきます。

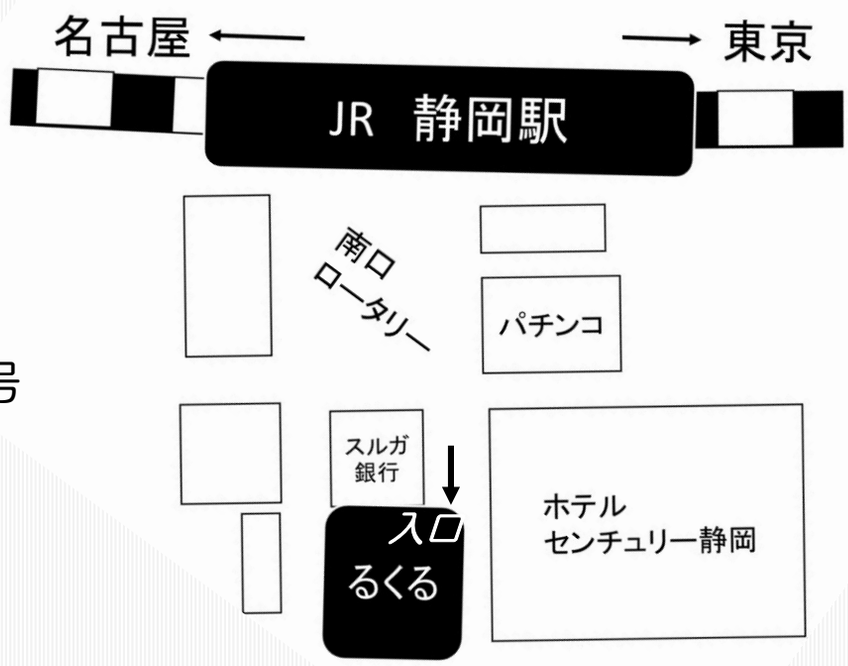
本セミナーの趣旨

静岡県は、富士山に代表される山や森林、河川、湖、海などの自然に恵まれる一方、日本の交通の要衝に位置しており、産業活動も活発です。豊富な自然と活発な産業活動の間には、バランスやジレンマといった環境リスクが生じます。県内各地では自然科学や社会科学を学ぶ様々な取組が行われておりますが、老若男女を問わず「環境リスク」を理解してもらうことの難しさに直面した経験のある方も多いことと思います。我々は、静岡県内の環境リスク教育活動における“縦（対象年代）”と“横（教育研究分野）”のネットワークを構築し、年代に合わせた教育プログラムの共同開発を目指しています。今回は、環境リスク評価のあり方を考えるとともに、どのようにして伝えていけばよいのかについて、専門家、行政担当者、リスクコミュニケーター、県民を交えながら議論する機会を設けました。

会場案内

ＪＲ静岡駅南口より徒歩1分
静岡駅南口 駅前
エスパティオビル 8階

静岡科学館る・く・る
〒422-8067
静岡市駿河区南町14番25号
エスパティオ8～10階
TEL　054-284-6960



※17:15～17：45 の間は、
1階エレベータホールから入館頂けます

（当日問合せ：090-3838-8282, 内藤まで）